

「Google マイビジネス」を使った集客を模索

群馬学習塾(協)

7月5日、太田市において、集客ツールとして「Google マイビジネス」の活用を学ぶための研修会を実施した。講師は、ホームページの作成支援等を行っている、ホームページビルダー代表の高澤一雄氏。

はじめに「Google マイビジネス」の特徴を紹介。「Google マイビジネス」は、Google検索やGoogleマップのユーザーに対して、自社の店舗をアピールすることができるツールと説明、最大の特徴として、無料のツールであることを強調した。

その上で、利用するメリットは、ユーザーと交流できることや、自店の魅力をアピールできることなどであると述べた。

高澤氏自身も同サービスの活用経験を披露するとともに、実際のビジネスと同様、継続的な運用が着実に効果を上げていくとアドバイスした。

組合では、今後も、月1回のペースで組合員の経営に役立つテーマで研修会を定期的開催していく方針。



熱心に研修の内容に耳を傾ける組合員

光触媒コーティングで感染症対策を実施

桐生市末広町商店街(振)

7月5日・6日の両日、お客様に安心して買い物をしてもらおうと、組合員15店舗で、抗菌、抗ウイルス効果のある光触媒コーティングを行った。同コーティングは、光触媒作用で発生した活性酸素がウイルスの活性を制御する効果があるほか、ニオイを吸着分解し、ニオイの蓄積を抑制する効果があり、耐用年数は5年とのこと。



店舗内の壁面に溶剤を吹きかける作業員

施工は、高崎市に拠点を持つNPO法人グレート群馬ネットワークに依頼。

専用の溶剤を吹き付けて壁などに均一な塗膜を形成、その後、計測器を用いて汚染物質を測定し、コーティングによって衛生状態が改善されたことを確認した。



Local Area News

SDGs宣言に向けた組合活動を スタート

(協)群馬県木造住宅研究会

7月16日、前橋市・前橋商工会議所会館において、「SDGs宣言」構築のためのコンサルティングを実施した。講師は、SDGsファシリテーターの神戸安希子氏。

住宅産業では、メディアを通じた広告力を武器に大手ハウスメーカーが攻勢を強めており、中小工務店は厳しい状況が続いている。SDGs宣言を行うことで、従来の地域密着型のトータルサポートサービスに更なる付加価値を生み出せると考え本事業を企画した。



SDGsの概念、取組み状況を紹介

コンサルティングでは、SDGsの概念についての説明、政府や群馬県におけるSDGsの取組み状況が紹介され、特に群馬県では、山本知事が就任以来、SDGsに関する取組みを積極的に展開していることが強調された。

また、SDGs宣言を行うには、2030年時点の中長期ビジョンを描いたうえで、事業活動とSDGsの目標の関係性を紐付けて整理するマッピングが重要であると神戸氏は助言を行った。

同組合では今後もコンサルティングを重ね、SDGs宣言に向けた取組みを推進していく。

旅館業でのHACCP対応のポイント を学ぶ

草津温泉旅館(協)

7月21日、吾妻郡草津町・組合会議室において、株式会社食環境衛生研究所/JFS規格監査員の小林祐介氏を専門家に招き、旅館業におけるHACCPの取組みについてアドバイスを受けた。

HACCPとは、国際的に認められた衛生管理手法。食品衛生法改正に伴い本年6月から食品を取り扱うすべての事業者で義務化され、旅館業等においても対応が不可欠となっている。



HACCPの有効性を学ぶ

小林氏は、HACCPと従来の管理方法との違いは、仕入から提供するまでの作業工程を細分化した点であると説明。HACCPでは、作業工程ごとに定めた基準でチェックするため、衛生管理水準が上昇するほか、問題発生時の原因究明が容易と導入効果を述べた。

また、旅館業等において注意すべきポイントは食中毒であり、食品別に温度管理を徹底することが有効であるとアドバイス。さらに、衛生管理計画は実施して初めて意味を持つため、まずは従業員に浸透させ実施することを優先すべき。そして、事業場内の衛生レベルは、最も意識の低い従業員や衛生管理ができていない項目が基準となってしまう傾向がある。そのため、全従業員に高い意識を持ってもらうことが重要と力説した。